

# 「ウチダザリガニ」モニタリング報告

## 1. 目的

環境省の指定した特定外来生物ウチダザリガニの生息状況、捕獲状況を分析し、より効果的な防除方法を見つけるための基礎データとなることを目的とする

## 2. 結果

- (1) 桧原湖・小野川湖・秋元湖・曾原湖全ての湖でウチダザリガニの生息を確認した
- (2) 捕獲数は延べ桧原湖 2 匹・小野川湖 20 匹・秋元湖 9 匹・曾原湖 7 匹であった
- (3) 12 月は1個体のみの確認だった
- (4) 10 月 26 日には卵を抱いている個体を確認し、11 月 26 日には卵がばらけていた個体を確認した

## 3. 考察

- (1) 12 月は捕獲数が激減するため、11 月までに捕獲することが望ましい
- (2) 10 月 26 日には既に卵を抱いている個体を確認し、11 月 18 日には卵がばらけていた。卵から孵る前に捕獲することを考えた場合 9 月から 11 月上旬頃までに集中して捕獲することが望ましいと思われる
- (3) 桧原湖以外では湖ハサミや足の欠損個体が捕獲された。このことは湖内には多くの個体数が生息しているか、または、限られた場所に多く集まるかといった理由で生息密度が高いためではないかと推測される。今後は地形や湖底の状態なども調べられると効果的な駆除方法が見つかるかもしれない

## 4. 概要

- (1) 実施期日
  - \* 平成 22 年 10 月 26 日(桧原湖・小野川湖・秋元湖・曾原湖)
  - \* 平成 22 年 11 月 26 日(桧原湖・小野川湖・秋元湖・曾原湖)
  - \* 平成 22 年 12 月 21 日(桧原湖・小野川湖・秋元湖・曾原湖)
- (2) 調査者
  - \* 五十嵐悟・野沢沙樹(NPO法人わかば自然楽校)
  - \* 伊藤延廣・鈴木正代・立花千秋(裏磐梯エコツーリズム協会)
  - \* 徳田智(桧原漁業協同組合)
- (3) 調査項目および結果
  - \* ウチダザリガニの体長・頭胸甲・欠損状況、各湖の水温
  - \* 結果を表 1 に示す。また、捕獲数のデータを表 2、水温のデータを表 3 に示す

以上